



2021年2月19日

各位

会社名 株式会社フジオフードグループ本社  
 代表者 代表取締役 藤尾 政弘  
 (東証第一部 コード番号 2752)  
 問合せ先 取締役 経営企画本部長 九鬼祐一郎  
 TEL 06-6360-0304

## 予想値と実績値の差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2020年8月14日に公表いたしました2020年12月期の業績予想値と本日公表の決算値に差異が生じたこと、また、特別損失を計上しましたことを、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想と実績値との差異について

2020年12月期(2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 27,675	百万円 △1,884	百万円 △2,323	百万円 △3,439	円 銭 △79.71
実績値(B)	26,805	△2,971	△2,876	△4,998	△115.82
増減額(B-A)	△870	△1,088	△553	△1,559	—
増減率(%)	△3.1%	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2019年12月期)	38,393	1,458	884	△103	△2.40

(注)当社は、2020年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

#### 2. 差異の理由

当連結会計年度の業績につきまして、2020年8月14日時点の予想においては、新型コロナウイルスの影響が今期中は残ることを前提としつつも、経済活動が一定程度進むと想定しておりましたが、前回発表以降広がった新型コロナウイルス感染症第2波・第3波による外出自粛や各自治体からの時短要請の影響により、売上収益の回復が想定よりも遅く、想定していた既存店売上を下回ったことから固定費負担を補いきれず、利益に関しても前回公表の予想を下回る結果となりました。

#### 3. 特別損失の内容

当社は、2020年12月期第4四半期連結会計期間において、収益性の低下がみられた店舗について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失として477百万円を計上いたしました。なお、本日開示いたしました「2020年12月期決算短信[日本基準](連結)」の連結業績及び個別業績については、当該項目を特別損失に計上した業績となっております。

以上